

「HomeShip～新潟出身振付家によるダンス公演&キャリアトーク含むワークショップ及び調査～」  
事前調査結果

2024年11月29日  
ダすけ

多様な身体表現によるダンス作品の上演に加え、新潟でダンスに取り組む高校・大学生とその保護者が、舞踊の幅広い活動やさまざまなキャリアを知る機会の創出をめざす「HomeShip～新潟出身振付家によるダンス公演&キャリアトーク含むワークショップ及び調査～」。

公演やキャリアトークに、現在ダンスに取り組む方々のダンスに対する意識を反映するため、アンケートとインタビューを実施した。

1. アンケート調査

実施期間:2024年6月21日～2024年7月26日

実施方法:Google フォームを利用

対象者:現在ダンスに取り組んでいる高校生・大学生

周知方法:Instagram、新潟県内の各高校・大学ダンス部への回答協力依頼

回答数:84

2. インタビュー調査

インタビュー実施期間:2024年8月21日～2024年8月26日

実施方法:Zoom

対象者:上記アンケートにおいてインタビュー可能と回答があった20人のうち5名

対象者内訳:①高校2年・男性

②高校3年・女性

③大学4年・新潟県外出身(関西)・女性

④大学4年・新潟県外出身(関東)・男性

⑤大学院修士1年・女性

実施主体 ダすけ

助成 アーツカウンシル新潟((公財)新潟市芸術文化振興財団)「文化芸術活動に関する支援事業」

事業実施背景と目的

ダすけメンバーは、高校からダンスをはじめ、大学や大学院で新潟県外に進学し、現在は新潟や関東などでダンスと向き合っている。

自分たちが高校生だった2010年代中盤を振り返ると、他校の高校ダンス部や県・全国大会出場校の作品に触れる他は、Noism Company Niigata(以下、Noism)を知るばかりだったが、進学で関東に出たことをきっかけに様々なダンス公演を見に行き、幅広い表現や多様なダンスに関わるキャリアを知ることができた。このような経験から、新潟には全国大会で受賞するような高校ダンス部が多数ある一方で大学ダンス部や社会人がダンスを継続できる環境が少なく、高校ダンス部とNoismの間にある選択肢や環境が見え

にくいのではないかと考えた。

そこで、高校生や大学生、保護者が、様々なダンスに触れるとともに、ダンスに関わるキャリアを知る機会を設けることで、人生の中でダンスをはじめとする文化芸術との関わりを考えたり、新潟における多様な創造活動が生まれたり関わったりするきっかけを醸成するため、公演実施に加え、現在の高校生や大学生の意識を調査・把握し、公演時のキャリアトークを実施する。

## 調査結果考察

---

ダすけメンバーが高校時代に感じていたダンスに対する魅力やダンス継続にあたって考えていることと、今の高校生や大学生が感じていることに大きな違いはなく、共感、同意するものが多かった。しかし、ダすけメンバーが高校時代だった 2010 年代中盤までと現在の大きな違いは、「高校ダンス部」「Noism」に加え、新潟市秋葉区を拠点に活動する NEphRiTE dance company(以下、NEphRiTE)や、新潟市内で活動している元 Noism ダンサーによる取り組みが生まれ、活発になっているという環境の変化である。

インタビュー内容から、NEphRiTE や元 Noism ダンサーによる作品上演や、それに係る出演者募集、指導などが新潟市内で断続的に展開されていることで、ダンスに関わる機会や選択肢が増えてきたと言えるだろう。また、NEphRiTE や元 Noism ダンサーによる公演を契機としたダンサー募集やワークショップ・クラスの開催などがコンスタントに告知されることや、今回のような調査で高校生・大学生とコミュニケーションをとることは、ダンサーとしての出演機会やさまざまなダンスとの関わり方があるということ、現在ダンスに取り組む高校生・大学生が知るきっかけになるとともに、学校卒業後や学校以外で継続的にダンスに取り組む環境構築に効果があることがわかった。

一方で、ダンスの魅力や進路選択に関する質問に対して出てくる単語や言葉が画一的であることは、高校生や大学生がアクセスしている知識が限定的になっていることを示していると考えられる。「高校ダンス部」「Noism」に加えて NEphRiTE や元 Noism ダンサーによる取り組みという新潟における舞踊コンテンツは増えているが、一団体やダンサーが個人で展開できるプロジェクト数や資金面の限界がある。しかし、身近にあるダンスや知っているダンスの引き出しが多ければ多いほど辿り着く情報や飛び込む機会が増えるという実体験をもとにすると、ダンスに関する多様な概念・ダンサー・プロジェクトが常設的に紹介されることが望ましい。

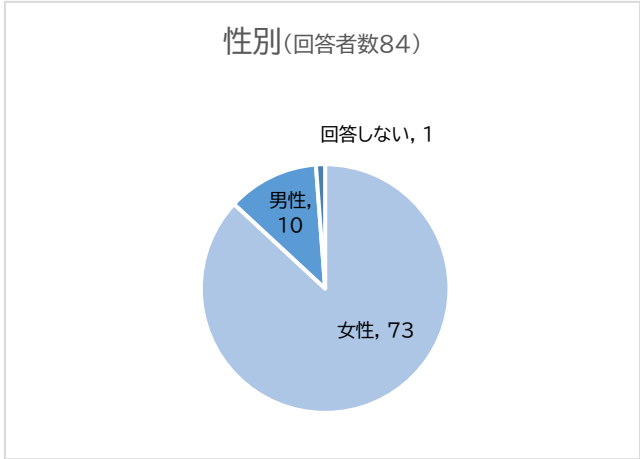
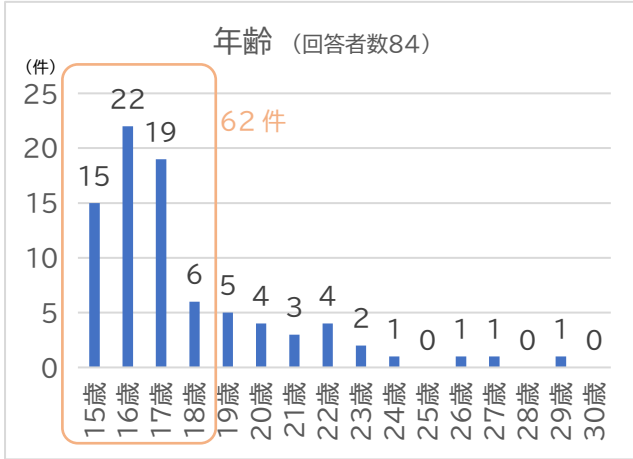
アンケート結果から、高校や大学以降もダンスを続けていきたいと考えている人が約 8 割を占めている一方で、「踊る機会や場所がなさそう」、「学業・仕事との両立が難しい」、「職業としては難しい」というマイナスな印象を持っている回答者が多いこともわかった。この現状に対して、多様なプロジェクトや人を継続的に紹介していくことでケーススタディが増え、自分自身が「ダンスとの関わり方の度合い」を探っていく機会になるだけでなく、ダンスに取り組む高校生・大学生の周囲の人・環境における情報の蓄積が図られ、「ダンスとの関わり方」そのもののバリエーションが増えるとともに、実験的な取り組みや人を応援する土壌が育まれやすくなるのではないだろうか。それは、人生の中でダンスをはじめとする文化芸術との関わりを考えたり、新潟における多様な創造活動が生まれることの布石になるだろう。今回の調査や公演をきっかけに、今後ダすけとして取り組む内容を具体化していきたい。

# 1. アンケート調査結果

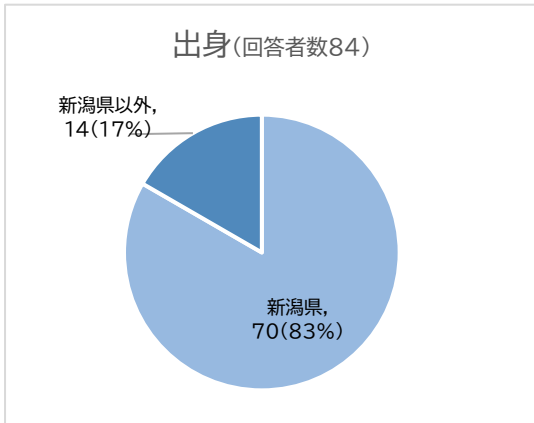
## 1. アンケート調査結果

### 回答者属性

○年齢・性別・出身・居住地

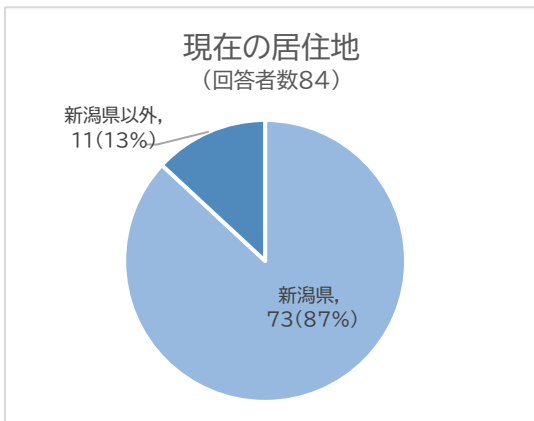


・15～18歳からの回答が62件、全体の約73%を占めている。  
 >新潟県内の高校ダンス部を中心にアンケート周知を行ったことが影響。  
 >大学ダンス部に関しては、新潟県内で大学ダンス部がある学校2校に案内を実施。  
 →高校生の年代(15～18歳)から、当事業テーマへの関心が高いことがうかがえる。  
 一方で、高校生の年代に比べて大学生の年代(19歳～)以降の回答者数が少ないことから、高校時代にダンスを経験した人が新潟県外に進学・就職、もしくはダンスを継続していないことが想定される。



#### 新潟県外内訳

宮城県	1
茨城県	1
栃木県	1
埼玉県	2
東京都	2
神奈川県	1
愛知県	1
滋賀県	1
大阪府	1
兵庫県	2
佐賀県	1



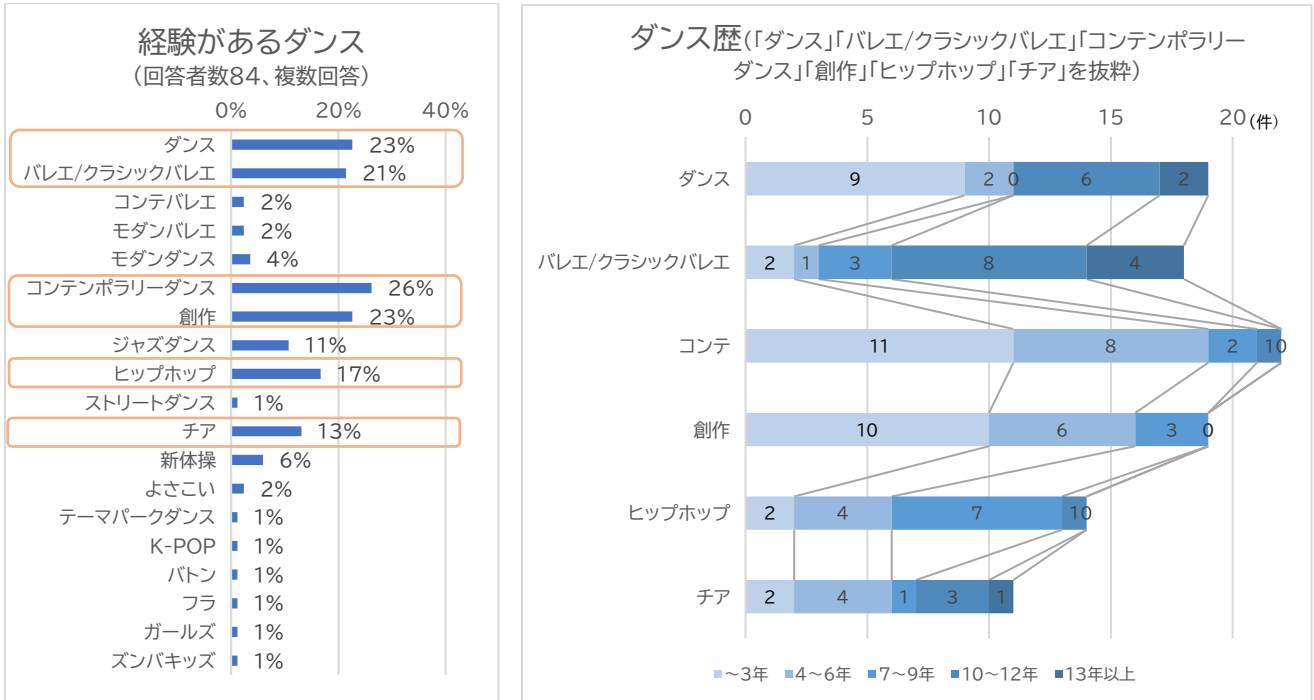
#### 新潟県外内訳

茨城県	3
埼玉県	5
千葉県	1
東京都	1
愛知県	1

# 1. アンケート調査結果

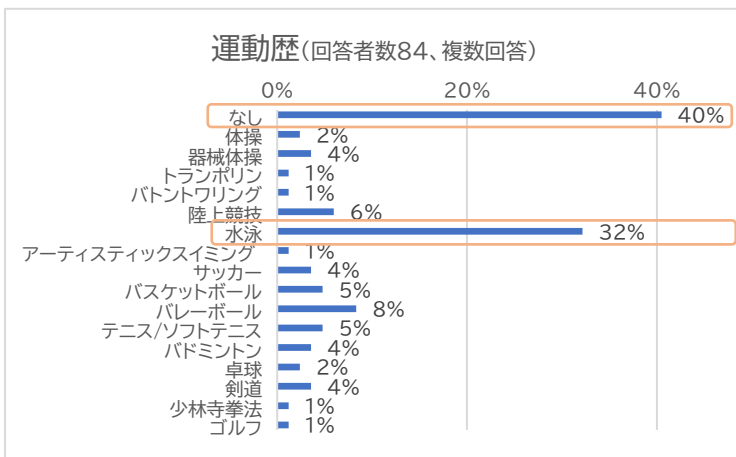
○ダンス歴 ※回答形式は自由記述でバレエ〇年、コンテ△年と記載

※年数のみの記載、またはジャンルレスの場合は「ダンス」に計上



- ・「バレエ/クラシックバレエ」は10年以上の経験者が多い
- ・「コンテンポラリーダンス」「創作」は6年以下の経験者が多い
- 回答者に高校生年代が多いことを考慮すると、幼少期から「バレエ/クラシックバレエ」に親しみ、高校以降でコンテンポラリーダンスや創作ダンスを始める人が多いと考えられる。
- バレエ教室や指導者に比べて、コンテンポラリーダンスや創作ダンスを教えているスタジオ・指導者が少ない環境的要因が考えられる。また、教室やスタジオの成立には「伝える型の有無」にあると仮定すると、バレエは「バレエの型がある」のに対して、コンテンポラリーダンスは「コンテンポラリーダンスの型がない」という特性が、教室・スタジオ有無に影響していると考えられる。バレエは「習う」、特に高校や大学で取り組むコンテンポラリーダンスや創作ダンスは「つくる」ことに重きが置かれているという特徴も想定される。
- ・「コンテンポラリーダンス」「創作」は6年以下の経験者が多い
- コンテンポラリーダンスや創作ダンスからダンスを始めるケースも一定数存在していると考えられる。

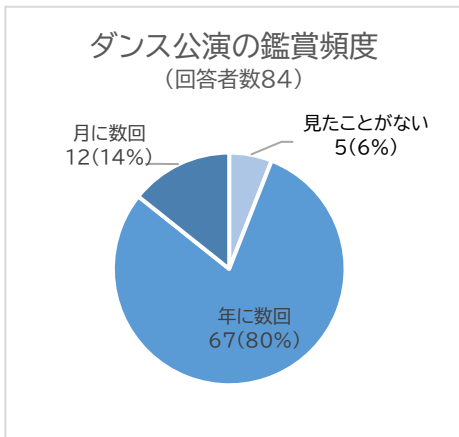
○その他運動歴 ※水泳〇年、と記載 ※なしの場合は「なし」



- ・ダンス以外の運動歴がないと回答した人が全回答者の約4割を占めている。
- ・「体操」「器械体操」「トランポリン」等の体操競技よりも「水泳」経験者が多い。

# 1. アンケート調査結果

## ○ダンス公演鑑賞頻度



## ○直近で鑑賞したダンス公演 (回答者数 73、自由記述・複数回答可)

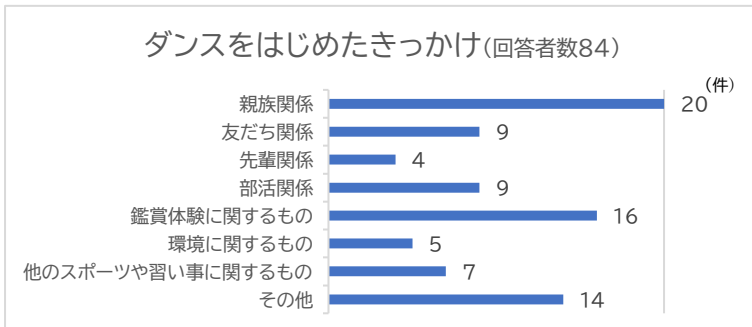
Noism 関係	38
バレエ教室関係	5
ストリートダンス関係	3
新潟市内拠点団体公演	4
大学ダンス部関係	10
高校ダンス部関係	4
新潟県内・他県劇場・自主企画関係	10

## ○ダンス以外の鑑賞体験 (回答者数 84、自由記述・複数回答可)

なし	52
美術関係	15
音楽関係	8
演劇・ミュージカル関係	3
映画	1

## ダンスに対する意識

### ○ダンスをはじめたきっかけ



・親族関係からダンスをはじめることが最も多い。  
 ・次いでダンスをはじめとする鑑賞体験に関するものが起因している。

<b>親族関係(20)</b>
親のすすめ(8) 体験やスタジオに連れていかれた/連れて行ってもらった・いつのまにか入れられた(4) 兄弟・姉妹がダンスをしていた・兄弟姉妹のダンスを見て(5) 親族がダンスをやっていた・講師(3)
<b>友だち関係(9)</b>
友だちがダンスをしていた・一緒に始めた(3) 友だちの勧め・誘い・紹介(6)
<b>先輩関係(4)</b>
先輩のダンスを見て踊りたいと思った(3) 先輩のダンスを見て人間の可能性を感じた(1)
<b>部活関係(9)</b>
部活(3) 新入生歓迎会の部活紹介(3) 顧問や先輩に声を掛けられた・勧誘(3)
<b>鑑賞体験に関するもの(16)</b>
ダンス公演・イベントを見て(7) ダンサーの姿がかっこよかった(1) ポスターをみて(1) よさこいがかっこよかった(1) アニメの影響(1) K-pop(3) 好きなアーティストのダンスを踊れるようになってみたいと思ったから(1) 衣装がかっこよかったと思った(1)
<b>環境に関するもの(5)</b>
家の近くに教室・ダンススタジオがあった(3) 他の習い事の教室と同じところにダンス教室があった(1) 通っていた幼稚園内で教室があった(1)
<b>他のスポーツや習い事に関するもの(7)</b>
新体操をやっていたから(2) 運動の一環として始めた(1) 新しい習い事をはじめたかった(3) 習い事で気付かぬうちに(1)
<b>その他(14)</b>
姿勢をよくするため(2) 体験をしてみたい(1) 踊りたいと思った・踊るのが好き(7) 楽しそうだった(1) 幼い頃からやっていたから(1) 勝手に踊っていた(1) なんとなく(1)

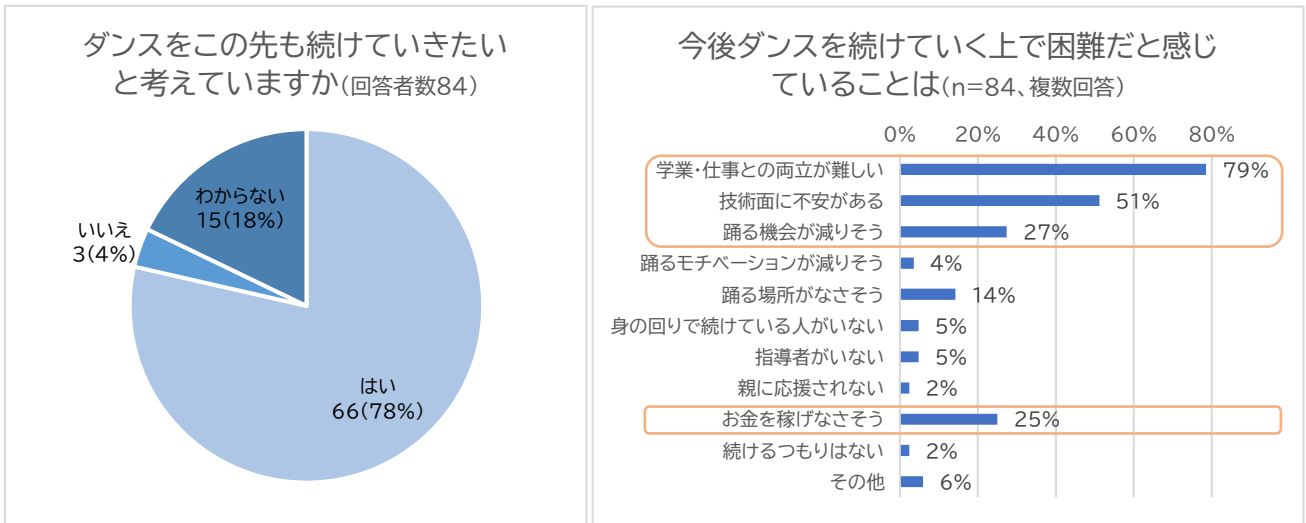
## 1. アンケート調査結果

### ○ダンスに感じる魅力(n=84,回答分類と回答抜粋)

<b>自由・正解がない・強制されない(16)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由に表現できるところ。踊りだけでなく曲や衣装など様々なもので表現できるのが好きです。</li> <li>・何をやってもいいところ。自分の好きなジャンルをとことんできること</li> <li>・自分の思うように表現出来て、他の人のダンスを見て動きを追求して新たな発見ができること</li> <li>・全身で表現、伝えられる、向上心を得られる、夢中になれる、制限がないこと</li> <li>・何者にもなれて、たくさんの思いを表現することが出来るのが魅力だと思います。</li> <li>・様々なジャンルがあり、ジャンル事に表現の仕方が変わること</li> <li>・どんなジャンルにおいても人の心を動かす力があること</li> </ul>
<b>言葉で表現できないことが身体で表現できる(20)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉がなくても心が震え、感情が揺れ動かされるような力を持っているところ。</li> <li>・言葉では表情できない感情を表現出来ること、正解がないこと、素直な自分で居られること。</li> <li>・言葉でなく身体全身で色々なことを表現できること</li> <li>・ただの身体の動作が、イメージや目的を持つことで一気に質感を帯びることがおもしろい</li> <li>・自分の身体一つで表現ができる事</li> <li>・ひとつの動き、角度が少し変わるだけでどんどん変わること</li> <li>・自分の信念を伝える手段となること。身体によって意識的なものと無意識的なものを表現されること。上達の見込みがたくさんあること。</li> <li>・直観的に表現ができること</li> </ul>
<b>個性を表せる・自分を表現できる(8)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも内気だけど、踊っている時だけは何もかもさらけ出せる。いろんな自分の感情を知ることができる。</li> <li>・自分に自信を待って、堂々と人に自分を魅せられること。</li> <li>・自分の熱量を共有できること</li> </ul>
<b>追求・探究性(3)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・審美性、その気になればどこまでも極めることができる点</li> <li>・自分が頑張った分だけ技術が磨かれること</li> <li>・終わりがなく、追求し続けられること</li> </ul>
<b>踊っていて楽しい(9)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい。身体を好きなように動かせる</li> <li>・踊っている人が楽しそうだと輝いて見える事。</li> </ul>
<b>人を感動させられる・楽しませられる(14)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・見た人の心を動かせる・笑顔にできる</li> <li>・自分の人生だけでなく、誰かの人生にも影響を与えられる。世界共通の言葉であること。</li> <li>・年齢や性別を問わず見た人に元気や笑顔を与えることができ、また自分も体を動かすだけで笑顔になってもらうことで、自分もエネルギーを得ることができること。</li> <li>・ダンスは得意不得意や年齢関係なく人々がみんな楽しめるところです。</li> </ul>
<b>達成感(3)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観てて楽しい、踊って楽しい、うまく踊りきれたり、アクロバットで新しい技ができた時の達成感が強い。</li> <li>・動きを追求する楽しさ、作品が形になった時の達成感</li> </ul>
<b>その他(11)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・かっこいい、かわいい(3)</li> <li>・呼吸(1)</li> <li>・体をたくさん使うところ(1) ・リズム感を補える(1) ・みんなで踊ることが楽しい。体幹が鍛えられるので他の競技にも繋がる(1)</li> <li>・ステージで踊る時の雰囲気、空気感(1)</li> <li>・仲間と共に一つの作品を作り上げる(1)</li> <li>・ダンスに助けられることがある(1)</li> <li>・特になし(1)</li> </ul>

# 1. アンケート調査結果

## ○ダンス継続意向



・ダンスを継続したいと考えている回答者が78%であることに対して、継続上の難しさに関する設問で回答数が多い項目や回答者の約7割が高校生であることを考慮すると、**進学や就職**が継続可否の判断材料となると考えられる。

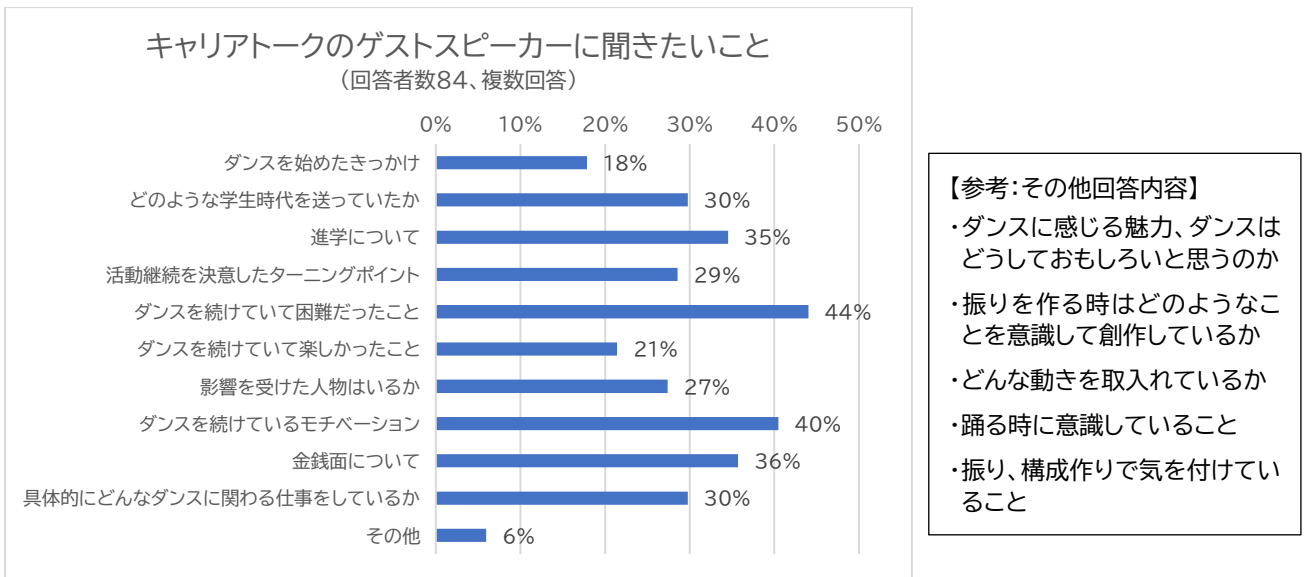
・継続上困難と考えているもののうち、「学業・仕事との両立が難しい」「技術面に不安がある」「踊る機会が減りそう」「お金を稼げなさそう」の回答数が多いことから、プロのダンサーのようなダンスを生業とした進路選択をしていくことが伺える。

【参考：「今後ダンスを続けていく上で困難だと感じていること」における「その他」の内容】

- ・職業としてではなければ困難なことは特になし
- ・踊ることを主として仕事にしていくのは難しい
- ・けが
- ・特になし (2)

## キャリアトークに向けて

### ○ゲストスピーカーに聞きたいこと



## 2. インタビュー調査結果

### 2. インタビュー調査結果

回答者:①高校2年・男性

②高校3年・女性

③大学4年・新潟県外出身(関西)・女性

④大学4年・新潟県外出身(関東)・男性

⑤大学院修士1年・女性

<表記について>

神戸…全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)

この大会は、全国各地の高校・大学のダンス部または有志グループ等が、それぞれの思いやテーマをダンスを通して全身で表現する大会。創作ダンスの全国大会としては、唯一の大会。(大会ウェブサイトより)

NEphRiTE dance company…新潟県新潟市秋葉区を拠点に活動するプロダンスカンパニー

2017年に土田貴好・小倉藍歌夫婦でコンテンポラリーダンスカンパニーを結成、2021年よりチームを結成。ダンサー・アーティスト育成・活動の場づくりに繋がることを目指し、チームとして稽古、リサーチ、クリエーション、パフォーマンスを継続的に実施。(カンパニーウェブサイトより)

#### ダンスを始める前と始めてからのダンスに対する印象の変化

- ①姉が入っていたダンスチームの公演で、自分と同じくらいの年の子が踊っているのを見て、大人数で同じことをするのがいいな、と思った。ダンスを始めた小学生の頃は「先生」を学校でしか知らなかったが、学校以外の場所で熱い指導をする先生がいるというのが驚きだった。NEphRiTE dance company(以下、NEphRiTE)の土田さんの踊りで初めて男性の踊りを見て、ダンスを運動ではなく芸術として考えるようになった。
- ②(高校ダンス部に対して)あまりイメージや期待もなかったが、作品創作に関わったことをきっかけに、踊るだけではなく創作をすることのおもしろさが大きくなった。
- ③創作ダンスをはじめて見た時は、なにやっているかわからない、半分以上演技で、これってダンスなの？と。一方で、立っただけでも圧があり、なにこれすごい、と思った。
- ④中学のダンスの授業でも目立たないようにやっていて、嫌いなくらいだった。ダンスにふれていなかったことや、周囲にダンスをやっている人がいなかったこともあり、苦手意識があった。知らない世界で怖い、「踊ってみて」と言われた時にどうやっていいかわからない、恥ずかしいということがあり、遠ざけていた。高校進学後、新入生歓迎会でダンス部の作品を見て、集団でダンスをしている様子やこんなに動けてすごいな、と思った。
- ⑤ヒップホップのイメージが大きかったが、高校ダンス部は創作ダンスの要素が多く、そのイメージは無かった。しかし、「創作」なので、チアやジャズなど、いろいろなジャンルができると感じた。

#### ダンスの魅力・自分が目指すダンス

- ①賞を受賞することよりも、言葉で表現できない感情を表し、それを見て観客が感動してくれるという一連の流れが好き。身近な人への恩返しになるようなダンスがしたい。
- ②ダンスは1人でも集団でもできるが、団体でできることに魅力を感じている。子ども時代にダンスという



## 2. インタビュー調査結果

手段で一つのことに熱中できたことはよかった。また、ダンスは言葉がいらぬ。世界共通の言語としても魅力的。

### 進路選択の理由

---

- ①小学生の時に高校ダンス部と交流する機会があり、あこがれて、学校を選択した。
- ②創作ダンスを続けることと、神戸に出られる大学進学を希望している。新潟でダンスを続ける選択肢がないわけではないが、県外に比べて新潟はダンス部がある大学が少なく、県外進学を考えている。教員の夢もあるので、教員資格を取れる大学に進学し、神戸に出られる大学で作品を作りたい。
- ③医療系に進みながら、ダンスも本気で続けたいと考え大学を選んだ。高校 3 年生の時にコロナ禍で、自分たちで作品を作らずに終わってしまった。もしコロナがなく、作品を作っていたら、高校でダンスをやめていたかもしれない。
- ④身体を動かすことや、身体について調べるのが好きで、医療系専門職への希望がある。また、自分たちが高校主学年の時にコロナ禍で神戸がなくなり不完全燃焼だった。そこで、進路に向けた勉強することとダンスを継続することで進学先を調べて大学を決めた。コロナがなく、いい作品を創作でき、賞がとれていたら、踊ってはいなくても部活としてダンスは続けていなかったかもしれない。  
大学卒業後は大学院進学を希望。高校から大学進学時は、部活で創作ダンスを続けることが主眼だったが、大学院進学にあたっては、ダンサーに広く還元できる研究をめざして、新潟県外を選択した。関東や首都圏に近いほど、プロのカンパニーや公演数の桁が違うと思う。ダンサーの多様性という点において、人口密集地域の方が広がりがあると感じている。自分が将来どのような面でダンスと関わりながら社会に出ていくかわからないので、広がりがあり、どのような選択肢で生きていくのかを考えたときに、自然と関東圏に選択肢が絞られた。
- ⑤大学選択はダンスで選択した。大学院進学についても、働いていると競技ダンスを続けることは難しいと思い、選択した。

### 将来のダンスとの関わり

---

- ①ダンサー一本でやることは全く考えていないが、ダンスをしなくなったらダンス以外のこともできなくなってしまうと感じているので、サブや副業などで続けたい。一時、踊らない時期があったが、自分が自分でなくなる感じがあったため、踊りと完全に離れることは難しい。指導者というよりは、創作や作品に関する話し合い、公演で観客に見てもらおうという一連の流れが好き。自分の作品作りにもチャレンジしてみたいと思っている。
- ②将来の夢は教員になること。教員をやりながら、できる範囲で続けたい。新潟で社会人でも続けている先輩や場所があるのを知っている。自分が続けられるか、という不安はあるものの、いろんな方法でダンスを続けられるということはわかっている。
- ③ダンスを続けるというよりも、作品作りを続けたい。大学 3 年生で初めて作品を作り、自分が作りたいものをコントロールできるのが魅力と感じた。自分自身の踊りの可能性(技術面やけがなど)は知れているが、他の人に振り付けたときにどのように踊るか、を見るのが好き。ダンス環境関係なく、就職で新潟から

## 2. インタビュー調査結果

は離れる。就職後、落ち着いたらダンススタジオに入って身をゆだねたい。

- ④院進学をした場合でも、部活や研究などで続けたり、将来臨床に出る時もダンスはどこかの軸に入ってくると思う。
- ⑤大学に就職して、現在研究している分野を主軸にしていきたい。ソロで踊るのは大学院までで、現在も入っているスタジオは続ける。

### ダンスを継続する上での不安・困難と感ずること

---

- ①お金の面が気になる。
- ②大学ではダンスを続けることはできるが、大学卒業後に自分が踊らなくなる・踊れなくなること。
- ③ダンススタジオで継続するとして、創作ダンススタジオが少ないため、自分に合うスタジオを見つけられるかどうか。
- ④就職後はダンスをする時間が短くなるという難しさはあるかもしれないが、いろいろな形でダンスと向き合っている人達を知ったので、継続が難しいとはあまり思っていない。ダンサーを生業にすることを考えた時には、機会を得にくいこと、収入面でのやりくり、一般社会の中でダンサーは異質な存在だと思うので、周囲と比べたときのやりづらさが出てくるかなと思う。また、身体的には、若いころの方が動けるので、たくさん動くダンスをできる時間はそんなに長くないのではないか、という感覚がある。
- ⑤社会人以降を考えると、スタジオに入って継続することは可能だと思うが、スタジオでは、ジャンルや踊る機会が決まっている。ソロでやるには、スタジオを借りたり作品創作したりする必要があることを考えると、時間と場所を確保する難しさがあると思う。コンテンポラリーダンスはコンクールが少ない面もあり、目に見える結果を得る機会が少なく、不安になる。踊る機会が増えるとよい。怪我の心配もある。

### トークで聞きたいこと

---

- ①先輩や同い年に指導する時に、やりにくさを感じたことがあったり、公演スタッフを担当した時には人に対して申し訳ないな、その人の時間つぶしているな、と思ったりしたことから、自身は指導者は合っていないと思っている。人に対して申し訳ないと思うことはあるか、また、振付の際にどのように接しているか。
- ②プロの舞踊家、ダンスを職業としている方がどのようなことで悩んでいるのか。自身はダンスが好きという関わりでしかないが、プロ・生業としている人が大切にしていることは何か。辞めたいと思うことはあるか。
- ③海外は出演オファーがあっってお金をもらっているイメージがあるが、日本の場合は自分がお金を払って出演しているイメージ。公演出演時のギャラ相場や、出演するためにお金を払っているのかが気になる。また、衣装家に対してどれくらいの謝礼を支払っているか。  
ダンサーとして、どのくらいで踊らなくなるのか、踊る側から離れていくのか。
- ④他の人はやっていないと思う自身のダンスとの関わりや、周囲の人がしている印象的なダンスとの関わり例。ダンサーとして収入面のやりくりをどのようにしているか。
- ⑤どのような時にダンスを続けてよかったと達成感を得られるか。また、続けたいと思うか。

## 2. インタビュー調査結果

### 新潟のダンス環境に関して

---

- ③NEphRiTEをはじめ、オープンコールの多くは出演者を求めるもの。作る側を募集するという点においては少ないと思う。
- ④神戸の印象が強い。高校時代に神戸の作品を見ていて、新潟はダンスの能力が高く、入賞しているイメージがあった。しかし、進学で新潟に来てみたところ、大学で創作ダンスを続ける人が想像しているよりも少ないと感じた。新潟の大学で創作ダンスができる大学は少なく、北陸エリアに広げても大学名を挙げられない。大学入学後に高校ダンス部に足を運んだ時も、能力としては高いのに大学まで創作ダンスを続ける人が少ないと感じた。地元高校の場合、1学年に2人くらいは大会に出場しているような大学ダンス部に入っていたり、カンパニーに参加したり、インカレサークルで他ジャンルのダンスを続けたりしている人が多い。
- ④新潟はワークショップが少ない印象。ある程度数が開催されてたとしても、積極的に情報を探しに行かないと耳に入りにくい。新潟にいても、東京の情報は嫌でも耳に入ってくることを考えると、新潟は数が少ないのかな、と思う。また、鑑賞という視点から、大きなカンパニー数や海外等からの招聘公演数という点においても、関東は数があると思う。
- ⑤関東はワークショップや関係者同士の繋がりが強く、いろいろなものが入りやすいイメージ。新潟はワークショップの機会や情報も少ない。高校ダンス部の各校の繋がりがあり、その次がもう Noism、という感じ。大学ダンス部という環境にいと、周囲はダンスをしている人がいるが、既卒同期のうち新潟でダンスを続けている人が少ない。一方で県外ではダンスを続けている人もおり、ダンスをする場所や機会の数が違うのかな、と思う。新潟で踊る場合は、教室やスタジオに入ることが考えられるが、ジャンルや機会が決まっているため、もっと踊る機会が増えるとい。教室以外となると、コンテンポラリーダンスのジャンルにおいては NEphRiTE が公演出演者を毎年募集している。新潟でダンス鑑賞となると、Noism。

## 参考資料:アンケート回答フォーム

### HomeShip事前アンケート

「HomeShip～新潟出身振付家によるダンス公演&キャリアトーク含むワークショップ及び調査～」を2024年12月26日（木）、27日（金）に旧第四銀行住吉町支店にて行います。多様な身体表現によるダンス作品を上演することに加え、新潟でダンスに取り組む高校・大学生とその保護者が、舞踊の幅広い活動やさまざまなキャリアを知る機会の創出を目指して企画を進めております。そこで、現在ダンスに取り組まれている皆様のダンスに対する意識をお伺いし、企画に反映していきたいと考えています。ご協力をお願いします。

<主催・問い合わせ先>

ダすけ

E-mail:

[dasuke@googlegroups.com](mailto:dasuke@googlegroups.com)

<助成>

アーツカウンシル新潟（（公財）新潟市芸術文化振興財団）

Google にログインすると作業内容を保存できます。詳細

次へ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。不正行為の報告 - 利用規約 - プライバシーポリシー

Google フォーム

## HomeShip事前アンケート

Google にログインすると作業内容を保存できます。[詳細](#)

\* 必須の質問です

### プライバシーの保護について

- 本調査は、若手ダンサーが抱えているダンスキャリアの課題についてのアンケートになります。

このアンケートにおいて収集された個人情報は、調査目的以外に使用されることはありません。また、第三者に提供することなく厳重に管理されます。得られたデータは匿名化され、調査の分析および報告の目的にのみ使用されます。

上記の内容に同意します。 \*

- はい
- いいえ

[戻る](#)

[次へ](#)

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。[不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム

## HomeShip事前アンケート

Google にログインすると作業内容を保存できます。 [詳細](#)

\* 必須の質問です

### あなたについて教えてください

年齢(〇〇歳)\*

回答を入力

学年

現在学生ではない方は「その他」を選択し、卒業後〇年と記入してください。

学年\*

高校1年生

高校2年生

高校3年生

大学1年生

大学2年生

大学3年生

大学4年生

修士1年

修士2年

その他: \_\_\_\_\_

性別 \*

- 男性
- 女性
- 回答しない

ダンス歴（バレエ○年、コンテ△年） \*

回答を入力

その他運動歴（水泳○年 ※なしの場合は「なし」と記入してください） \*

回答を入力

出身 \*

- 新潟県
- 新潟県以外

（新潟県以外と答えた方）出身地を記入してください（〇〇県）。

回答を入力

現在の居住地 \*

- 新潟県
- 新潟県以外

(新潟県以外と答えた方) 現在の居住地を記入してください(〇〇県)。

回答を入力

ダンス公演を観に行く頻度\*

- 見たこと無い
- 年に数回
- 月に数回

直近のダンス公演は何を観ましたか(公演名 ※なしの場合は「なし」と記入\*  
してください)

回答を入力

ダンス以外で、直近の芸術鑑賞は何を観ましたか(美術館、コンサート、**展覧会\***  
等 ※なしの場合は「なし」と記入してください)

回答を入力

戻る

次へ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム



## HomeShip事前アンケート

Google にログインすると作業内容を保存できます。詳細

\* 必須の質問です

あなたのダンスに対する意識を教えてください。

あなたがダンスを始めたきっかけを教えてください。 \*

回答を入力

あなたがダンスに感じる魅力は何ですか。 \*

回答を入力

ダンスをこの先も続けていきたいと考えていますか。 \*

- はい
- いいえ
- わからない

今後ダンスを続けていく上で困難だと感じていることは（複数選択可） \*

- 学業・仕事との両立が難しい
- 技術面に不安がある
- 踊る機会が減りそう
- 踊るモチベーションが減りそう
- 踊る場所がなさそう
- 身の回りで続けている人がいない
- 指導者がいない
- 親に応援されない
- お金を稼げなさそう
- 続けるつもりはない
- その他: \_\_\_\_\_

この企画のキャリアトークのゲストスピーカーに聞きたいこと（複数回答可） \*

- ダンスを始めたきっかけ
- どのような学生時代を送っていたか
- 進学について
- 活動継続を決意したターニングポイント
- ダンスを続けていて困難だったこと
- ダンスを続けていて楽しかったこと
- 影響を受けた人物はいるか
- ダンスを続けているモチベーション
- 金銭面について
- 具体的にどんなダンスに関わる仕事をしているか
- その他: \_\_\_\_\_



戻る

次へ

フォームをクリア

## HomeShip事前アンケート

[Google にログイン](#)すると作業内容を保存できます。[詳細](#)

### インタビュー調査のご協力のお願いと公演案内について

今後さらにご回答内容に関する詳細をお伺いするためのインタビューを実施したいと思っております。インタビュー調査にご協力いただける方は後日メールで連絡させていただきたいと思っておりますので、お名前とメールアドレスの記入をお願いします。  
また、今後のHomeShipに関連するイベントの案内はInstagramにて行うので、もしよければそちらフォローよろしくお願いします。

インタビューにご協力いただける方は「はい」を選択してください

- はい
- いいえ

「はい」と答えた方にお聞きします。  
インタビュー形式は次のうちどれを希望しますか。

- オンライン (zoom)
- 対面
- どちらでも可

名前 (ふりがな)

回答を入力

メールアドレス

回答を入力

InstagramのQR・ID



@DASUKE\_NIIGATA\_

戻る 送信

フォームをクリア

### 本調査に関する問い合わせ先

※本調査内容・結果の無断転載等は固くお断りいたします。  
※本調査結果の引用、転載の際は以下までご連絡ください。

ダすけ

メール: [suke3.dasuke@gmail.com](mailto:suke3.dasuke@gmail.com)

インスタグラム:

[https://www.instagram.com/dasuke\\_niigata/](https://www.instagram.com/dasuke_niigata/)